

## 教育研究の状況についての評価における現況分析単位について

### 現況分析とは

- 中期目標期間の教育研究の状況についての評価は、独立行政法人大学評価・学位授与機構に評価を要請し、その結果を尊重することとしており、中期目標の達成状況の評価は、国立大学法人等を構成している学部・研究科等の現況分析結果を踏まえて実施する。
- 学部・研究科等の現況は、「教育の水準」及び「質の向上度」、「研究の水準」及び「質の向上度」を分析することにより把握する。

### 教育研究評価における現況分析単位の基本的な考え方

現況分析単位の基本的な考え方については、「国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領（別添2）」（平成23年10月27日国立大学法人評価委員会決定、平成25年11月6日一部改正）に基づく。

### スケジュール

評価単位については、実施要領において平成27年10月を目処に確定することとしているが、法人における評価作業を考慮し、早期に知らせる観点から、当初予定を前倒しして法人に照会し、確定する。

平成26年12月 1日	法人に評価単位の意向調査 大学評価・学位授与機構と調整
平成27年 2月17日	年度評価及び中期目標期間の評価に関するWGにおいて 評価単位（案）の審議 法人に評価単位（案）を確認
平成27年 3月 3日	総会において評価単位の審議 法人及び大学評価・学位授与機構に通知

#### 【参考】

- 第1期暫定評価時

平成19年1月29日意向調査、3月27日WG審議・意見照会、4月6日総会確定

- 第1期確定評価時

平成21年7月3日意向調査、10月14日WG審議、10月16日意見照会、11月6日総会確定